

# 地理歴史(日本史)〔問題〕

(100点・80分)

## 注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見たり、裏返したりしてはいけません。
2. 出題科目は、世界史・日本史です。どちらか1科目を選択しなさい。
3. この問題冊子は地理歴史(日本史)です。全部で29ページあり、解答用紙は共通で1枚(両面)です。

試験中に問題冊子・解答用紙の印刷不鮮明、ページの落丁などに気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。

4. 試験開始後、ただちに解答用紙の所定の記入欄に、氏名・受験番号・誕生月日をそれぞれ正しく記入し、さらに受験番号・誕生月日をその下のマーク欄にマークしなさい。また、選択科目欄には、選択する科目をマークしなさい。マークと異なる科目を解答したり、両科目を解答した場合は判定対象となりません。
5. 受験番号・誕生月日が正しくマークされていない場合は、採点できないことがあります。
6. 解答は、解答用紙の解答欄に各設問で指示された方法で記入しなさい。

この問題冊子(日本史)の解答番号は51～100です。

例えば、

70
----

と表示のある問いに対して②と解答する場合は、次の(例)のように解答番号70の解答欄の②にマークしなさい。

(例)

解答番号	解 答 欄
70	① ● ③ ④ . . . . .

7. 問題冊子の余白等は、下書きなどに適宜利用してよいが、各設問で指示された解答は、必ず解答用紙の解答欄に指示された方法で記入しなさい。
8. 試験終了後、提出は解答用紙のみとし、問題冊子は持ち帰りなさい。

# 日本史

**第1問** 日本における、貨幣の歴史に関する文章A～Cを読み、下の問い（問1～9）の答えを解答欄に記入せよ。

A 『日本書紀』の683年の記事には、天武天皇が「銅銭」の使用を命じたことが記されている。この「銅銭」は奈良県  から出土した富本銭にあると考えられている。

<sup>Ⓐ</sup>8世紀から10世紀にかけて、古代国家は和同開珎をはじめ、本朝（皇朝）十二銭と総称される銅銭を鑄造した。和同開珎は、<sup>Ⓑ</sup>平城京造営のために徴発された人々に対し、労働の代金として支給されたと考えられている。

問1  に入る語句として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 荒神谷遺跡      ② 板付遺跡      ③ 飛鳥池遺跡      ④ 纏向遺跡

問2 下線部<sup>Ⓐ</sup>に関連して、8世紀から10世紀にかけて、古代国家が打ち出した政策に関して述べた次の文章Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

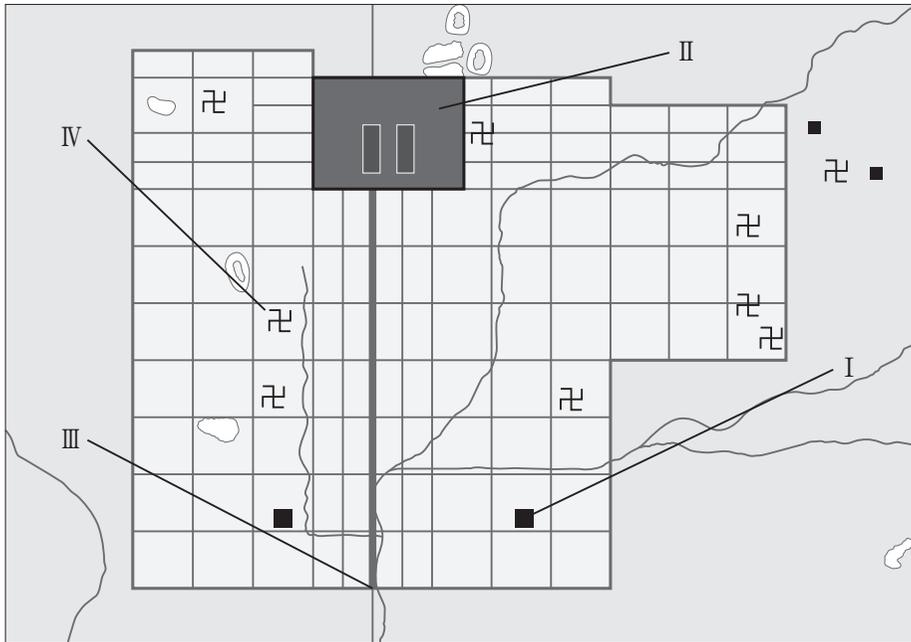
Ⅰ：荘園整理令が出され、違法な土地所有が禁じられた。

Ⅱ：鎮護国家の思想にもとづき、国分寺建立の詔が出された。

Ⅲ：財源を確保するため、畿内に官田が設けられた。

- ① Ⅰ－Ⅱ－Ⅲ      ② Ⅰ－Ⅲ－Ⅱ  
③ Ⅱ－Ⅰ－Ⅲ      ④ Ⅱ－Ⅲ－Ⅰ  
⑤ Ⅲ－Ⅰ－Ⅱ      ⑥ Ⅲ－Ⅱ－Ⅰ

問3 下線部①に関連して、次の平城京図に関して述べた文章として正しいものを、  
 下の①～④のうちから一つ選べ。 53



- ① Iは、右京にあった東市である。
- ② IIの平城宮には、朝堂院や大極殿が置かれていた。
- ③ IIIの場所にあった門は、大納言の伴善男によって放火された。
- ④ IVは、行基によって建てられた唐招提寺である。

B 10世紀を最後に国家による銭貨の鑄造は行われなくなったものの、院政期には平氏政権のもとで日宋貿易が活発に展開され、大量の宋銭が輸入された。鎌倉時代に成立した歴史書『イ』には、<sup>㉓</sup>1179年に「銭の病」が流行したと記されている。ここに記された「銭の病」が何を意味するのかについては複数の解釈があるものの、<sup>㉔</sup>院政期から鎌倉時代にかけて、宋銭が社会にさまざまな影響をもたらしたことは、よく知られている。

室町時代には日明貿易が展開されるなかで、宋銭に加えてウなどの明銭も流通するようになった。

問4 イ・ウに入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。54

- ① イー百練抄                      ウー永楽通宝
- ② イー百練抄                      ウー乾元大宝
- ③ イー神皇正統記                ウー永楽通宝
- ④ イー神皇正統記                ウー乾元大宝

問5 下線部㉓に関連して、1179年に後白河法皇が平清盛によって幽閉される一因になったと考えられている、1177年に起こった事件の名称として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。55

- ① 阿衡の紛議                      ② 観応の擾乱
- ③ 鹿ヶ谷の陰謀                    ④ 明応の政変

問6 下線部④について述べた文章として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 56

- ① 荘園の一部では米などの現物に代わって貨幣が用いられ、年貢の銭納が行われた。
- ② 私鑄銭が貨幣流通の円滑化を阻害するなかで、撰銭令が出された。
- ③ 遠隔地間の取引には、金銭の輸送を手形で代用する為替が使用された。
- ④ 貨幣経済が社会に浸透するなかで、金融業者の借上の活動が活発化した。

C 全国統一を進めていた豊臣秀吉は、1588年、京都の金工後藤家に 工

をつくらせたが、これは進物用だったとも考えられている。

中国地方の オ など、主要鉱山を直轄下に置き、貨幣鑄造権を独占した江戸幕府のもとでは、17世紀中頃までに、金・銀・銭の三貨が全国にいきわたるようになった。幕府は、5代将軍徳川綱吉の時代に、勘定吟味役 カ の建議にもとづいて行った改鑄で知られるように、財政を補うことなどを目的とした貨幣改鑄をしばしば行った。

明治政府は新貨条例を制定して江戸時代の貨幣制度を改め、円・銭・厘を単位に新硬貨を発行し、近代的貨幣制度の創設をめざした。

④ 明治期から昭和期にいたるまでの貨幣制度や通貨体制は、国内の経済だけでなく、国際情勢や経済動向にも影響を受けながら変化していった。

問7 工・オ に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 57

- ① 工 — 慶長小判      オ — 石見銀山
- ② 工 — 慶長小判      オ — 別子銅山
- ③ 工 — 天正大判      オ — 石見銀山
- ④ 工 — 天正大判      オ — 別子銅山

問 8 カ に入る人名として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

58

- ① 荻原重秀      ② 大岡忠相      ③ 柳沢吉保      ④ 田中丘隅

問 9 下線部㉔に関して述べた次の文章 X・Y と、それに該当する語句 a～d の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 59

X：1880年代の松方財政では、日本銀行の設立を経て兌換銀行券が発行され、近代的な通貨体制が整備された。

Y：1970年代前半に、アメリカ大統領は金とドルとの交換停止などを骨子とする政策を発表し、日本などに為替レートの切上げを要求した。

a：金本位制      b：銀本位制

c：ニクソン      d：ケネディ

- ① X — a      Y — c      ② X — a      Y — d  
③ X — b      Y — c      ④ X — b      Y — d

**第2問** 原始時代の遺物に関する文章A，古代国家と東北・北陸地方に関する文章Bを読み，下の問い（問1～8）の答えを解答欄に記入せよ。なお，史料は一部省略したり，書き改めたりしたところもある。

A 文献史料が存在しない旧石器時代や縄文時代，中国史書なども対象として進められている弥生時代の研究は，考古学の成果に支えられている部分大きい。遺跡から出土する遺物は，多くの情報を提供してくれる。

旧石器時代の終わり頃に日本列島に広まった **ア** は，中国東北部やシベリアで発達した石器で，北方からもたらされたと考えられている。縄文時代の遺跡から出土する **イ** は呪術との関係，弥生時代の遺跡から出土する青銅器などは農耕儀礼との関係が指摘されている。

問1 下線部①に関連して，旧石器時代・縄文時代・弥生時代のいずれかの社会に関して述べた次の文章Ⅰ～Ⅲについて，古いものから年代順に正しく配列したものを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。 **60**

Ⅰ：食料資源や獲得方法が多様化するなかで，定住的な生活が始まった。

Ⅱ：大人と下戸などといった身分差がみられるようになり，首長の墓も出現した。

Ⅲ：人々は，一定の範囲内を移動しつつ，ナウマンゾウやオオツノジカなどを捕らえた。

- |   |              |   |              |
|---|--------------|---|--------------|
| ① | I — II — III | ② | I — III — II |
| ③ | II — I — III | ④ | II — III — I |
| ⑤ | III — I — II | ⑥ | III — II — I |

問2  ・  に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① アー石包丁      イー土偶
- ② アー石包丁      イー埴輪
- ③ アー細石器      イー土偶
- ④ アー細石器      イー埴輪

問3 下線部①に関連して、紀元前後から7世紀頃までの間に、北海道で展開した食料採集文化の名称として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 貝塚文化              ② 擦文文化
- ③ 続縄文文化            ④ オホーツク文化

問4 下線部③に関連して、弥生時代の遺跡から出土する弥生土器のうち、煮炊き用途とする土器の名称として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 壺              ② 高杯              ③ 甕              ④ 甑

B 645年の④乙巳の変で蘇我本宗家が滅ぼされた翌年に、孝徳天皇によって「改新の詔」が出され、647年から翌年にかけて、日本海側に淳足柵・磐舟柵が設けられた。斉明天皇の時代に派遣された  は、秋田地方などの蝦夷と関係をつなげた。

元明天皇の時代の712年には日本海側に  が設けられ、<sup>⑤</sup>聖武天皇が即位した年にあたる724年には多賀城が築かれた。しかし、蝦夷が居住する地域への支配が強化されるなかで、8世紀後半には蝦夷と中央政府との間での軍事衝突が激化した。

8世紀末には、征夷大將軍に任じられた坂上田村麻呂が東北地方に派遣され、9世紀初頭に、それまで多賀城に置かれていた鎮守府が胆沢城に移された。また、<sup>⑥</sup>当時起きた様々な問題について朝廷で議論が交わされた。その帰結が、いわゆる「徳政相論」である。

問5 下線部④に関連して、乙巳の変で滅ぼされた父子の名の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 蘇我稲目・馬子      ② 蘇我稲目・入鹿
- ③ 蘇我蝦夷・馬子      ④ 蘇我蝦夷・入鹿

問6  ・  に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ウー阿倍比羅夫      エー出羽国
- ② ウー阿倍比羅夫      エー陸奥国
- ③ ウー阿倍内麻呂      エー出羽国
- ④ ウー阿倍内麻呂      エー陸奥国

問7 下線部㉔に関連して、聖武天皇の時代を中心に形成された天平文化に関して述べた文章として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 66

- ① 六国史の最初に数えられる、漢文・編年体の体裁をとる『古事記』が編纂された。
- ② 『懷風藻』などの勅撰漢詩文集が成立し、菅原道真らの文人貴族が活躍した。
- ③ 定朝によって、寄木造の平等院鳳凰堂阿弥陀如来像が制作された。
- ④ 因果経の内容に応じた絵が描かれた、過去現在絵因果経が制作された。

問8 下線部㉕に関連して、この頃行われた朝廷での議論について記した史料から読み取ることのできる内容を記した文章X・Yの正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。なお、史料は一部省略したり、書き改めたりしたところもある。 67

(延暦二十四年) 十二月甲子、地震う。壬寅、公卿奏議して曰わく、「伏して  
 綸旨を奉るに、『营造未だ已まず、黎民(注1)に弊或り。彼の勤勞を念うに、  
 事須く矜恤(注2)すべし。しかのみならず、時災疫に遭いて、頗る農桑  
 を損う。今、年有りと雖も、未だ、業を復することを聞かず。宜しく事を  
 量りて優矜(注3)し、存濟(注4)することを得しむべし』とてえり。臣等商  
 量(注5)するに、伏して望むらくは、点加する所の仕丁一千二百八十一人を、  
 数に依りて停却せんことを。……又、伊賀・伊勢・尾張・近江・美濃・若  
 狭・越前・越中・丹波・丹後・但馬・因幡・播磨・美作・備前・備中・備後・  
 紀伊・阿波・讃岐・伊予等の国は、殊に当年の庸を免さん」と。之を許す。  
 (『日本後紀』)

- (注1) 黎民：庶民のこと。
- (注2) 矜恤：あわれみ、めぐむこと。
- (注3) 優矜：めぐみ、あわれむこと。
- (注4) 存濟：救い助けること。
- (注5) 商量：あれこれ考えること。

X：平安京の造営による民衆の疲弊が問題視され、労役の軽減が議論されている。  
 Y：東北での戦争を主な原因とする不作が問題視され、税の軽減が議論されている。

- ① X — 正      Y — 正                      ② X — 正      Y — 誤
- ③ X — 誤      Y — 正                      ④ X — 誤      Y — 誤

**第3問** 南都焼打ちと復興に関する文章A，鎌倉府に関する文章Bを読み，下の問い（問1～8）の答えを解答欄に記入せよ。なお，史料は一部省略したり，書き改めたりしたところもある。

A 1180年，<sup>a</sup>治承・寿永の乱が始まるなかで，東大寺や興福寺は反平氏勢力として挙兵した。そのため，平重衡が率いる大軍によって南都寺院は攻撃を受け，東大寺・興福寺の主要な伽藍は炎上した。

南都焼打ちによって焼亡した東大寺は，勸進上人として活動した  や，破損した大仏の首の鑄造を行った宋の工人  らによって復興を遂げた。東大寺や興福寺の復興には，<sup>b</sup>運慶や快慶らの慶派一門も貢献した。

しかし，16世紀後半，<sup>c</sup>下剋上の典型例とされる三好一族と松永久秀の戦乱に際して，東大寺大仏殿は再び焼失した。

問1 下線部②に関連して、治承・寿永の乱に関する、次の史料に関して述べた下の文章X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 68

(<sup>1183</sup> 寿永二年 閏十月十三日) ……又語りて云く(注1)。……抑、東海・東山・北陸三道の庄園国領(注2)、本の如く領知(注3)すべきの由、宣下せらるべき(注4)の旨、頼朝申し請ふ(注5)。仍て宣旨を下さるるの処、北陸道許りは義仲を恐るるに依り、其の宣旨を成されず。頼朝これを聞かば、定めて鬱を結ぶか。

(『玉葉』)

(注1) 語りて云く：左大史(太政官の事務官僚)の地位にあった小槻隆職が言うには。

(注2) 庄園国領：荘園・国衙領。

(注3) 領知：武士に押領された土地を、元の領主・知行主に安堵する。

(注4) 宣下せらるべき：宣下を下されるように。

(注5) 申し請ふ：お願い申し上げる。

X：源頼朝が朝廷に求めた要求について、筆者の藤原実資が正確に把握していたことが読みとれる。

Y：筆者は、源頼朝が求めた要求に対する朝廷の決断について、頼朝の満足を得られるだろうと推測している。

- ① X — 正    Y — 正                      ② X — 正    Y — 誤  
③ X — 誤    Y — 正                      ④ X — 誤    Y — 誤

問2  ・  に入る人名の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① アー重源 イー朱元璋
- ② アー重源 イー陳和卿
- ③ アー空也 イー朱元璋
- ④ アー空也 イー陳和卿

問3 下線部①に関連して、慶派一門による、鎌倉文化期の作品の名称として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 東大寺日光・月光菩薩像
- ② 東大寺法華堂執金剛神像
- ③ 興福寺阿修羅像
- ④ 興福寺無著像・世親像

問4 下線部②に関連して、14世紀から16世紀にかけての下剋上に関わる出来事に関して述べた次の文章Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

Ⅰ：山城国の国一揆について記された史料に、「下極上の至なり」と記された。

Ⅱ：中国地方の大名として権勢を誇った大内氏が、重臣の陶晴賢に国を奪われた。

Ⅲ：「二条河原落書」に、「下克上スル成出者」などと記された。

- ① Ⅰ－Ⅱ－Ⅲ
- ② Ⅰ－Ⅲ－Ⅱ
- ③ Ⅱ－Ⅰ－Ⅲ
- ④ Ⅱ－Ⅲ－Ⅰ
- ⑤ Ⅲ－Ⅰ－Ⅱ
- ⑥ Ⅲ－Ⅱ－Ⅰ

B 1336年、の光明天皇を擁立した足利尊氏は、当面の政治方針である建武式目で、「鎌倉元の如く柳営たるべきか、他所たるべきや否やの事」としていたが、最終的には京都を武家政権の拠点とした。

一方、尊氏は、南北朝の動乱のなかで、子のを鎌倉に下向させて関東の統治を担わせた。やがて、関東8カ国と甲斐・伊豆を統轄する鎌倉府の体制が整備され、長官の鎌倉公方にはとその子孫、関東管領には上杉氏が就任するようになった。

鎌倉府は独立性が強く、鎌倉公方は、<sup>d</sup>京都の将軍とたびたび衝突した。たとえば、足利義満が守護勢力を削減する動きを強めるなかで起こった1399年の<sup>e</sup>応永の乱に、3代鎌倉公方の足利満兼も関わっていたが、満兼は義満に陳謝して許された。

<sup>f</sup>15世紀には鎌倉公方が滅ぼされたり、分裂したりする事態が発生した。

問5 ・に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ウー持明院統      エー足利直義
- ② ウー持明院統      エー足利基氏
- ③ ウー大覚寺統      エー足利直義
- ④ ウー大覚寺統      エー足利基氏

問6 下線部④に関連して、室町幕府の将軍に関して述べた文章として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 足利義教は、応仁の乱のさなかに将軍に就任した。
- ② 足利義持は、日明貿易を一時中断した。
- ③ 足利義輝は、東山に銀閣を建てた。
- ④ 足利義尚は、赤松満祐に殺害された。

問7 下線部㉔に関連して、応永の乱で滅ぼされた人物の名として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 74

- ① 山名氏清      ② 土岐康行      ③ 細川勝元      ④ 大内義弘

問8 下線部㉕に関して述べた次の文章X・Yと、それに該当する語句a～dとの組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 75

X：1430年代に起こったこの戦乱で、京都の将軍や関東管領と対立していた鎌倉公方の足利持氏が滅ぼされた。

Y：1450年代には、鎌倉公方足利成氏が関東管領のこの人物を謀殺して享徳の乱が起こり、やがて鎌倉公方が分裂した。

- a：永享の乱      b：明徳の乱  
c：上杉憲忠      d：上杉憲実

- ① X — a      Y — c      ② X — a      Y — d  
③ X — b      Y — c      ④ X — b      Y — d

**第4問** 江戸時代の飢饉と一揆に関する文章A・Bを読み、下の問い（問1～8）の答えを解答欄に記入せよ。なお、史料は一部省略したり、書き改めたりしたところもある。

A 江戸時代には、しばしば大規模な飢饉が発生し、それらは冷害や火山の噴火といった自然災害だけでなく、幕藩領主の政策とも深い関係があった。また、そうした飢饉は、一揆や打ちこわしの発生につながった。

1640年代前半に寛永の飢饉が発生すると、1642年、幕府は日常の労働や暮らしに関わる法令を村々に発した。また、翌年には富農への土地集中と本百姓の没落防止などを目的として、**ア**を発令した。しかしうまく機能せず、質流れの形で崩れていった。

諸藩においても、寛永の飢饉を一つの転機として、藩政の安定と領内経済の発展が図られるようになった。

**問1** 下線部③に関連して、近世の一揆に関わる出来事に関して述べた次の文章Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 **76**

Ⅰ：甲斐国郡内地方や三河国加茂郡といった幕領で大規模な一揆が起こり、幕府に衝撃を与えた。

Ⅱ：一揆を未然に防ぐといった目的を掲げて、刀狩令が発せられ、民衆のもっている武器をとりあげる措置がとられた。

Ⅲ：徳川吉宗の将軍在職時に、陸奥磐城平藩で、藩領全域に及ぶ全藩一揆の一つとして知られる元文一揆が発生した。

- |                |                |
|----------------|----------------|
| ① I — II — III | ② I — III — II |
| ③ II — I — III | ④ II — III — I |
| ⑤ III — I — II | ⑥ III — II — I |

問2 下線部⑤に関連して、1642年に出された村々への法令の一部である次の史料に関して述べた文章として正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

77

- 一、祭礼・<sup>ぶつじ</sup>仏事など<sup>けっこう</sup>結構に<sup>つかまつ</sup>仕るまじき事。
- 一、男女衣類の事、これ以前より<sup>こはつと</sup>御法度の如く、庄屋は<sup>つむぎ</sup>絹紬・布・木綿を着すべし。わき百姓は布・もめんたるべし。右の外は、えり・<sup>おび</sup>帯などにも仕るまじき事。
- 一、嫁とりなどに乗物無用の事。
- 一、<sup>にあ</sup>似合わざる家作、<sup>じこん</sup>自今以後仕るまじき事。
- 一、<sup>こりょう</sup>御料・<sup>しりょう</sup>私領共に、本田畑にたばこ作らざるように申しつくべき事。
- 一、<sup>にくら</sup>荷鞍に<sup>もうせん</sup>毛氈をかけ、乗り申すまじき事。
- 一、来春より在々所々において、地頭・代官、木苗を植え置き、林を仕立て候様申しつくべき事。

（『<sup>ごとうけいじょう</sup>御当家令条』）

- ① ぜいたくを禁じていることが読みとれる。
- ② 衣服については、この法令によってはじめて規制されたことが読みとれる。
- ③ 村役人も、他の百姓と同じ衣服を着用することが命じられている。
- ④ 住居については規制されているが、農業に関する規定はみられない。

問3 ア に入る語句として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

78

- ① 上知令
- ② 分地制限令
- ③ 旧里帰農令
- ④ 田畑永代売買の禁止令

問4 下線部㉔に関連して、藩政の刷新を図った岡山藩主池田光政が、1670年に設けた郷校の名称として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

79

- ① 彰考館      ② 造士館      ③ 閑谷学校      ④ 足利学校

B 1710年代に開始された<sup>㉔</sup>享保の改革は、幕府財政の立て直しに一定の成果をあげたものの、年貢増徴策は一揆の発生につながった。また、<sup>㉔</sup>1730年代には、天候不順の西日本一帯でいなごやうんかが大量に発生して凶作となり、享保の飢饉が発生した。

田沼意次が政治を主導していた1780年代には、冷害や  の大噴火を背景に、天明の飢饉が発生し、東北地方を中心に多数の餓死者を出した。天明の飢饉の惨状は、『解体新書』を刊行したことで知られる、 が編纂に関わった『後見草』からうかがえる。

1830年代には天保の飢饉が発生し、1832年から翌年にかけて、収穫が例年の半分以下となった。幕藩領主が有効な対策を立てることができない状態が続くなか、各地で百姓一揆や打ちこわしが続出した。1837年には、陽明学者で大坂町奉行元与力だった  が門弟らとともに武装蜂起したが、半日で鎮圧された。

問5 下線部㉕に関連して、享保の改革で打ち出された政策に関して述べた文章として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 金銀貸借についての争いを当事者間で解決させるため、相对済し令が出された。  
② 有能な人材を登用することが求められるなかで、足高の制が設けられた。  
③ 米価の平準化がめざされるなかで、大坂の堂島米市場が公認された。  
④ 暦の誤差を修正し、新たな暦をつくるため、天文方が新設された。

問6 下線部㊦に関連して、1730年代に創設された、当時の将軍の次男宗武を祖とする、三卿の一つに数えられる家の名称として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 水戸家      ② 紀伊家      ③ 田安家      ④ 尾張家

問7  ・  に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① イー浅間山      ウー杉田玄白  
② イー浅間山      ウー賀茂真淵  
③ イー富士山      ウー杉田玄白  
④ イー富士山      ウー賀茂真淵

問8  に入る人名として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 生田万      ② 高野長英      ③ 渡辺崋山      ④ 大塩平八郎

**第5問** 条約改正に関する文章A・Bを読み、下の問い（問1～9）の答えを解答欄に記入せよ。なお、史料は一部省略したり、書き改めたりしたところもある。

A 1871年、<sup>a</sup> 廃藩置県を断行した明治政府は、<sup>b</sup> 幕末に締結された不平等条約の改正や欧米の視察などを目的として、岩倉使節団を派遣した。岩倉具視を特命全権大使、・大久保利通・伊藤博文らを副使とする同使節団には、書記官など多くの官吏が加わり、津田梅子ら女子留学生、『東京日日新聞』の社長になったことや立憲帝政党を組織したことで知られる  も随行した。

条約改正交渉は失敗に終わったが、岩倉使節団は、<sup>c</sup> 欧米諸国の政治・経済・社会など、あらゆる分野の発展状況を詳細に調査して帰国した。使節団に参加した人々は、その後の日本の近代化に貢献した。

<sup>d</sup> 1870年代には、外務卿に就任した寺島宗則が関税自主権の回復をめざして交渉を進め、アメリカの同意を取りつけたが、イギリス・ドイツの反対によって失敗に終わった。

問1 下線部②に関連して、廃藩置県の詔の一部である次の史料に関して述べた文章として誤っているものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 84

朕<sup>おも</sup>惟<sup>こ</sup>フニ、更始<sup>し</sup>（注1）ノ時ニ際シ、内以テ億兆<sup>おくちよう</sup>（注2）ヲ保安シ、外以テ万国ト対峙<sup>たいじ</sup>（注3）セント欲セハ、宜<sup>よろし</sup>ク名実相副<sup>あいそ</sup>ヒ、政令<sup>せいれい</sup>一二帰セシムヘシ。朕曩<sup>さき</sup>ニ諸藩 I ノ議<sup>ぎ</sup>ヲ聴納<sup>ちやうのう</sup>（注4）シ、新ニ II ヲ命シ、各其職ヲ奉セシム、然<sup>しか</sup>ルニ数百年因襲<sup>いんしゆう</sup>ノ久キ、或<sup>あるい</sup>ハ其名アリテ其实<sup>あが</sup>拳<sup>こ</sup>ラサル者アリ。何ヲ以テ億兆ヲ保安シ万国ト対峙スルヲ得ンヤ。朕深ク之ヲ慨<sup>がい</sup>ス（注5）。仍<sup>よつ</sup>テ今更ニ藩ヲ廢シ県ト為ス。是<sup>つとめ</sup>務<sup>じゆう</sup>テ冗<sup>かん</sup>ヲ去<sup>つ</sup>リ簡ニ就<sup>かん</sup>キ（注6）、有名無実<sup>へい</sup>ノ弊ヲ除キ、政令<sup>たき</sup>多岐<sup>うれい</sup>ノ憂<sup>な</sup>無<sup>な</sup>ラシメントス。汝<sup>なんじ</sup>群臣<sup>そ</sup>其レ朕カ意ヲ体セヨ。

（『法令全書』）

（注1）更始：革新。明治維新のこと。

（注2）億兆：人民。

（注3）対峙：対等に交際する。

（注4）聴納：許可する。1869年の諸藩主が土地と人民を返上した改革を許可したこと。

（注5）慨ス：なげかわしく思う。

（注6）冗ヲ去リ簡ニ就キ：無駄を省いて簡素化すること。

- ① 史料中の I には「版籍奉還」が入る。
- ② 史料中の II には旧藩主が任じられた「府知事・県令」が入る。
- ③ 外国との関係が意識されている。
- ④ 政策や法令の一元化を図ることが目的だとされている。

問2 下線部⑥に関連して、幕末の政治に関して述べた次の文章Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

85

Ⅰ：松平慶永が政事総裁職、松平容保が京都守護職に任じられた。

Ⅱ：将軍徳川慶喜が、フランスの援助のもとで改革に着手した。

Ⅲ：大船建造の禁が解かれ、老中首座に堀田正睦が就任した。

① Ⅰ－Ⅱ－Ⅲ      ② Ⅰ－Ⅲ－Ⅱ

③ Ⅱ－Ⅰ－Ⅲ      ④ Ⅱ－Ⅲ－Ⅰ

⑤ Ⅲ－Ⅰ－Ⅱ      ⑥ Ⅲ－Ⅱ－Ⅰ

問3 

ア
---

・

イ
---

に入る人名の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

86

① ア－高杉晋作      イ－石橋湛山

② ア－高杉晋作      イ－福地源一郎

③ ア－木戸孝允      イ－石橋湛山

④ ア－木戸孝允      イ－福地源一郎

問4 下線部③に関連して、諸外国の技術や知識をもとに打ち出された政策に関して述べた次の文章X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

87

X：アメリカの制度にならい、国立銀行条例が定められた。

Y：フランスから機械類を輸入して、福岡県に富岡製糸場が設立された。

① X－正      Y－正      ② X－正      Y－誤

③ X－誤      Y－正      ④ X－誤      Y－誤

問5 下線部④に関連して、1870年代に明治政府のもとで実施された政策として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 88

- ① 秩禄処分      ② 琉球処分      ③ 地租改正      ④ 皇民化政策

B 1880年代に外務卿、外務大臣を務めた井上馨は、列国代表を東京に招いて会議を開き、領事裁判権の撤廃について、同意を得ようとした。しかし、⑤ 交渉を有利に進めるためにとった欧化政策や交渉案が政府内外の批判を受けた上、法権回復の必要性を国民に認識させる結果となった事件が起こった。このため、1887年、井上は交渉を中止して外相を辞任した。

続いて⑥ 大隈重信外相が条約改正に好意的な国から国別の交渉を行った。この時も交渉内容への反対論が高まり、1889年、ウの社員の襲撃で大隈が負傷したため、交渉は中止された。

第1次山県有朋内閣・第1次松方正義内閣の外相青木周蔵のもとでは、交渉の進展が期待された。ロシアの東アジア進出の動きを警戒するイギリスが、条約改正に応じる態度を示したからである。しかし青木は、1891年に起きたエの責任をとり、辞任した。

その後、⑦ 第2次伊藤博文内閣の外相陸奥宗光のもとで法権回復、第2次桂太郎内閣の外相小村寿太郎のもとで税権の完全回復が実現した。

問6 下線部⑧に関して述べた文章として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 89

- ① 社交場の鹿鳴館が建設され、外国人の要人が接待された。  
② 交渉では、外国人を被告とする裁判に、過半数の外国人判事を採用する案が示された。  
③ フェートン号事件に際しては、イギリス領事による審判で、船長の過失が問われなかった。  
④ 条約改正交渉の内容が明るみに出ると、三大事件建白運動が起こった。

問7 下線部㉑に関連して、大隈重信らが1882年に創立した教育機関の名称として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 90

- ① 同志社      ② 慶応義塾      ③ 札幌農学校      ④ 東京専門学校

問8 ウ・エに入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 91

- ① ウー 愛国社      エー 大津事件  
② ウー 愛国社      エー 福島事件  
③ ウー 玄洋社      エー 大津事件  
④ ウー 玄洋社      エー 福島事件

問9 下線部㉒に関連して、第2次伊藤博文内閣、第2次桂太郎内閣に関して述べた次の文章X・Yと、それに該当する語句a～dの組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 92

X：第2次伊藤博文内閣時には、朝鮮で東学の信徒を中心とする、この農民反乱を機に、日清両国が出兵して日清戦争が始まった。

Y：第2次桂太郎内閣時に起こったこの事件によって社会主義者・無政府主義者が逮捕され、幸徳秋水ら12人の死刑が執行された。

a：義和団戦争      b：甲午農民戦争  
c：虎の門事件      d：大逆事件

- ① Xー a      Yー c      ② Xー a      Yー d  
③ Xー b      Yー c      ④ Xー b      Yー d

**第6問** 近代の恐慌に関する文章A，1996年に発表された日米安全保障共同宣言（日米安保共同宣言）から引用した史料Bを読み，下の問い（問1～8）の答えを解答欄に記入せよ。なお，史料は一部省略したり，書き改めたりしたところもある。

A 第一次世界大戦の勃発にともなってもたらされた大戦景気によって，1910年代半ば以降，海運業，造船業，<sup>a</sup>鉄鋼業，繊維産業などが好況となり，いわゆる成金が続々と生まれた。

しかし，第一次世界大戦終結後，貿易は輸入超過に転じ，1920年には戦後恐慌が発生した。第一次世界大戦中に発生した **ア** のあと，大戦景気を背景に，党勢拡大と産業発展をめざして積極政策を進めていた立憲政友会の **イ** 内閣は，戦後恐慌によって積極政策が行き詰まるなか，1921年に **イ** が暗殺され，内閣は総辞職した。

<sup>b</sup>1923年の関東大震災で日本経済は震災恐慌に陥り，1927年には，震災手形の処理が課題となるなかで金融恐慌が発生した。

1920年代の相次ぐ不況を背景に，財界などでは金本位制への復帰を望む声が高まり，浜口雄幸内閣の蔵相 **ウ** のもとで，物価引下げや産業の合理化が促進され，1930年1月に金輸出解禁（金解禁）が実施された。しかし，日本経済は，その直前に起きた世界恐慌の影響と金輸出解禁のための不況によって，昭和恐慌とよばれる未曾有の恐慌に直面した。

問1 下線部㉓に関連して、第一次世界大戦勃発後の鉄鋼業・繊維産業に関して述べた次の文章X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 93

X：鉄鋼業では、南満洲鉄道株式会社によって、鞍山製鉄所が設立された。

Y：繊維産業では、日本企業が中国で紡績業の工場生産を行う在華紡が拡大した。

- ① X－正 Y－正                      ② X－正 Y－誤  
③ X－誤 Y－正                      ④ X－誤 Y－誤

問2 ア・イに入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 94

- ① ア－米騒動                      イ－原敬  
② ア－米騒動                      イ－高橋是清  
③ ア－日比谷焼打ち事件        イ－原敬  
④ ア－日比谷焼打ち事件        イ－高橋是清

問3 下線部㉔に関して述べた文章として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 95

- ① 関東大震災の混乱のなかで、大杉栄らが憲兵に殺害される事件が起こった。  
② 震災恐慌への対応として、第2次山本権兵衛内閣は、重要産業統制法を公布した。  
③ 金融恐慌によって、三井・三菱などの大銀行に預金が集中するようになった。  
④ 金融恐慌への対応の一つとして、田中義一内閣は、モラトリアムを発した。

問 4 ウ に入る人名として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

96

- ① 片岡直温      ② 松岡洋右      ③ 井上準之助      ④ 幣原喜重郎

B 総理大臣と大統領は、この地域の安定を促進し、<sup>c</sup>日米両国が直面する安全保障上の課題に対処していくことの重要性を強調した。

これに関連して総理大臣と大統領は、日本と米国との間の同盟関係が持つ重要な価値を再確認した。両者は、「日本国とアメリカ合衆国との間の相互協力及び安全保障条約」（以下、日米安保条約）を基盤とする両国間の安全保障面の関係が、共通の安全保障上の目標を達成するとともに、<sup>d</sup>二一世紀に向けてアジア太平洋地域において安定的で繁栄した情勢を維持するための基礎であり続けることを再確認した。

(a) 総理大臣は、冷戦後の安全保障情勢の下で日本の防衛力が適切な役割を果たすべきことを強調する一九九五年一月策定の新防衛大綱において明記された日本の基本的な防衛政策を確認した。総理大臣と大統領は、日本の防衛のための最も効果的な枠組みは、日米両国間の緊密な防衛協力であるとの点で意見が一致した。この協力は、<sup>e</sup>自衛隊の適切な防衛能力と日米安保体制の組み合わせに基づくものである。両首脳は、日米安保条約に基づく米国の抑止力は引き続き日本の安全保障の拠り所であることを改めて確認した。

（『防衛白書』、平成八年版）

問5 この史料（日米安全保障共同宣言）が出された翌年の日米関係に関して述べた文章として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 97

- ① アメリカの求めをうけて、日本政府は牛肉・オレンジの輸入自由化を決定した。
- ② アメリカが展開したベトナム戦争に対し、日本の首相が支持する声明を発表した。
- ③ 日本政府とアメリカ政府との間で、新ガイドラインが決定された。
- ④ ニクソン大統領と日本の首相との間で、日米首脳会談が開かれた。

問6 下線部㉔に関連して、近代の日米関係に関して述べた次の文章Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 98

Ⅰ：石井・ランシング協定が結ばれ、中国の「門戸開放」などが確認された。

Ⅱ：アメリカが日本に対し、日米通商航海条約の廃棄を通告した。

Ⅲ：桂・タフト協定が結ばれ、アメリカは日本の韓国保護化を承認した。

- ① Ⅰ — Ⅱ — Ⅲ      ② Ⅰ — Ⅲ — Ⅱ
- ③ Ⅱ — Ⅰ — Ⅲ      ④ Ⅱ — Ⅲ — Ⅰ
- ⑤ Ⅲ — Ⅰ — Ⅱ      ⑥ Ⅲ — Ⅱ — Ⅰ

問7 下線部㉔に関連して、日本で2001年11月にテロ対策特別措置法が制定される契機となるなど、21世紀に入って発生した出来事として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 99

- ① キューバ危機
- ② 同時多発テロ事件（9.11事件）
- ③ イラクのクウェート（クウェート）侵攻
- ④ ソ連のアフガニスタン侵攻

問8 下線部㉔に関連して、アメリカとの間でMSA協定が締結されて自衛隊が成立し、防衛庁が組織された時期として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 100

- ① 1940年代
- ② 1950年代
- ③ 1960年代
- ④ 1970年代